



羽咋高校 同窓会だより

秋号
10月
2018



▶ contents

| | |
|------------------------|-----|
| 平成30年度 同窓会総会 | 2・3 |
| ホームページをリニューアルしました..... | 4 |
| 運営協力金の納入状況..... | 4 |
| 校友広場 支部・期別の集い..... | 5・6 |
| 羽校の今 羽咋高校吹奏楽部..... | 7 |
| ワンサギ校との交流..... | 7 |
| 羽校魂 スポーツと文化活動の軌跡..... | 8 |
| 「ドイツガシワ」の木の由来 | 8 |

▲オリンピックオークとも呼ばれ、生徒玄関前に聳える前田侯爵ゆかりの「ドイツガシワ」

▶昭和56年（1981）伐採されようとしていた「ドイツガシワ」の移植に尽力された同窓会第6代会長・小倉次吉氏



石川県立羽咋高等学校 ●学校創立 昭和23年（1948）4月1日 ●創立記念日 6月17日（昭和23年に開校式が行われた日）

●卒業生数 旧制羽咋中学校 1,996名 旧制羽咋女学校 1,943名 新制石川県立咋高等学校 24,640名（平成30年3月現在）

●在籍生徒数 600名（平成30年度）

●ホームページ <http://www.uko-dosokai.net> E-mail hakui55dosokai@festa.ocn.ne.jp



平成30年度 同窓会総会



平成30年7月15日(日曜日)
午前10時から羽咋市のコスモ
アイル羽咋において、130
名の出席のもと「平成30年度
石川県立羽咋高等学校(本部)
同窓会総会が盛大に開催され
ました。

オープニングには、総会前
日の石川県吹奏楽コンクール
で金賞を受賞したばかりの同
校吹奏楽部が、オープニング
にふさわしい「華の伽羅奢々
花も花なれ 人も人なれ」
「アニーローリー」を演奏し、
会場は大きな感動に包まれま
した。

その後、宮下久幸副会長の
開会の言葉、物故者への黙禱
に続いてあいさつに立った轟
千栄子会長は次のように述べ
ました。「私は昨年この総会
で会長に選任していただき1
年が過ぎました。この1年、
熱い思いが強いあまり、役員・
関係諸氏をはらはらさせたこ
ともありましたが、みなさま
のご理解のもと念願であった
同窓会だよりをすべての卒業
生に送ることができたことを
嬉しく思うと同時にほっとし

ております。同窓会だよりを
通じて同窓生と同窓会が、ま
た同窓生同士が繋がること
ができることを願い、引き続き
努力してまいります。

また秋にはホームページも
リニューアルし、高校・各支
部の活動の様子など様々な情
報を広く速やかにお届けでき
る様になることと期待してお
ります。

また、今年も運営協力金のお
願いをさせていただきました
ところ、たくさんのおみなさま
からのご厚志をお寄せいた
だきました。

あらためて感謝を申し上げ
ます。ありがとうございます
。今年は若い世代からの送
金が多かったこともまた嬉し
いことでした。あらためてみ
なさまのお気持ちに込める責



轟千栄子同窓会会長

平成29年度 石川県立羽咋高等学校同窓会会計 決算書

1 一般会計 (平成29年6月1日～平成30年5月31日)
収入の部 (単位:円)

| 科目 | 予算額 ① | 決算額 ② | 増減(△)額 ②-① | 摘要 |
|-----------|------------|------------|---------------|--------------|
| 1 前年度繰越金 | 6,686,865 | 6,686,865 | 0 | |
| 2 卒業生入会金 | 579,000 | 579,000 | 0 | 3,000円×193人 |
| 3 卒業生終身会費 | 3,860,000 | 3,860,111 | 111 | 20,000円×193人 |
| 4 一般終身会費 | 0 | 0 | 0 | |
| 5 運営協力金 | 5,000,000 | 6,770,150 | 1,770,150 | |
| 6 基金会計利息 | 0 | 7,200 | 7,200 | 社債利息 |
| 7 雑収入 | 135 | 272 | 137 | 預金利息等 |
| 合計 | 16,126,000 | 17,903,598 | 1,777,598 | |

支出の部

| 科目 | 予算額 ① | 決算額 ② | 増減(△)額 ②-① | 摘要 |
|-------------|------------|------------|---------------|---------------------|
| 1 本部総会関係費 | 500,000 | 394,656 | △ 105,344 | 総会費 |
| 2 評議員関係費 | 130,000 | 128,149 | △ 1,851 | 役員会等 |
| 3 支部総会関係費 | 2,600,000 | 2,193,190 | △ 406,810 | 支部助成・総会参加費等 |
| 4 同窓会だより費 | 1,500,000 | 1,350,872 | △ 149,128 | 同窓会だより印刷費等 |
| 5 教育振興費 | 500,000 | 255,540 | △ 244,460 | スピーカー(吹奏楽部)、書架 |
| 6 慶弔費 | 150,000 | 177,000 | 27,000 | 教職員転退職者饗別・香典等 |
| 7 事務局関係費 | 3,250,000 | 3,060,306 | △ 189,694 | |
| 8 基金会計への繰出金 | 4,600,000 | 3,000,000 | △ 1,600,000 | 名簿・100周年事業等将来経費への積立 |
| 9 予備費 | 2,896,000 | 0 | △ 2,896,000 | |
| 合計 | 16,126,000 | 10,559,713 | △ 5,566,287 | |

収入 17,903,598円 - 支出 10,559,713円 = 差引残額(翌年度へ繰越) 7,343,885円

平成30年度 石川県立羽咋高等学校同窓会会計 予算書

1 一般会計 (平成30年6月1日～平成31年5月31日)
収入の部 (単位:円)

| 科目 | 予算額 ① | 前年度予算額 ② | 増減(△)額 ①-② | 摘要 |
|-----------|------------|-------------|---------------|--------------|
| 1 前年度繰越金 | 7,343,885 | 6,686,865 | 657,020 | |
| 2 卒業生入会金 | 600,000 | 579,000 | 21,000 | 3,000円×200人 |
| 3 卒業生終身会費 | 4,000,000 | 3,860,000 | 140,000 | 20,000円×200人 |
| 4 一般終身会費 | 0 | 0 | 0 | |
| 5 運営協力金 | 6,000,000 | 5,000,000 | 1,000,000 | |
| 6 基金会計利息 | 1,000 | 0 | 1,000 | 社債利息 |
| 7 雑収入 | 115 | 135 | △ 20 | 預金利息 |
| 合計 | 17,945,000 | 16,126,000 | 1,819,000 | |

支出の部

| 科目 | 予算額 ① | 前年度予算額 ② | 増減(△)額 ①-② | 摘要 |
|------------------|------------|-------------|---------------|------------------------------|
| 1 本部総会関係費 | 500,000 | 500,000 | 0 | 総会、講演会等 |
| 2 評議員関係費 | 130,000 | 130,000 | 0 | 役員会等 |
| 3 支部総会関係費 | 2,610,000 | 2,600,000 | 10,000 | 支部助成・総会参加費等 |
| 4 同窓会だより費 | 2,800,000 | 1,500,000 | 1,300,000 | 同窓会だより作成費(運営協力金関係費を含む) |
| 5 ホームページ関係費 | 400,000 | 0 | 400,000 | ホームページリニューアル及び管理費 |
| 6 教育振興費 | 1,000,000 | 500,000 | 500,000 | 学校に対する支援 |
| 7 慶弔費 | 200,000 | 150,000 | 50,000 | |
| 8 事務局関係費 | 2,050,000 | 3,250,000 | △ 1,200,000 | 運営協力金関係費を「4. 同窓会だより費」に移動のため減 |
| 9 基金会計への繰出金 | 2,000,000 | 4,600,000 | △ 2,600,000 | 名簿作成・10周年事業費用として基金会計へ繰出 |
| 10 予備費(次年度への繰越金) | 6,255,000 | 2,896,000 | 3,359,000 | |
| 合計 | 17,945,000 | 16,126,000 | 1,819,000 | |



任の重さを感じております。高校とも連携し大切に使用させていただきます。そして、しっかりとご報告いたします。

これからもより良い同窓会に向けて役員一同、問題点も共有しつつ真摯に取り組みまいります。どうぞ同窓会を気にかけていただいでご協力くださいますよう、お願い申し上げます」と、感謝の言葉を述べました。

続いて、会場より川口絹子さん（高14回生）が議長に選出されて議事に移り、平成29年度事業報告を拍手で承認。また、平成29年度の一般会計、基金会計決算について報告があり、収支ともに予算執行は適正だったとする今井和秀会計監事の監査報告を受け、平成29年度決算は原案通り承認されました。

次に、平成30年度の事業計画と予算、運営協力金の振込み状況について審議した結果、これらも満場の拍手で原案通り承認されました（29年度一般会計決算書と30年度予算所は2ページに掲載）。

また、審議終了後、母校への寄付を行った羽高19回生と39回生に対し、釜親 徹校長より感謝状がそれぞれの代表に送呈されました。

最後に、城村孝一郎副会長のあいさつで平成30年度総会は閉会となりました。

講演会

講演会には、慶應義塾大学教授の菊澤研宗氏（高校28回生）を講師としてお迎えし、「日本軍に学ぶ組織の不条理」と題してご講演をいただきました。

130名の聴衆を前に、菊澤先生は日本人の特徴として、先の大戦からドイツには目的意識を持ったヒトラーがいたのに対し、日本軍には明確なリーダーが見当たらない。では、なぜ日本軍は勝てない戦争に向かったのかと会場に問いかけました。

そして、ご専門である新制度派経済学の切り口から、戦艦大和の作戦過程をふり返り、損得計算の結果、不正を維持する方が得だという点で一致したとき、黒い空気が発生。悲劇的な結果をもたらしたと説明されました。

個々の人材は優秀なのに、組織となると不条理な方向に突き進んでしまう。こうした組織構造は、現在でも見られることであり、この空気の発生を避けるには、個々人の価値判断が重要になると結ばれました。

内容の濃い内容ながら、経済学に縁がなかった私たちでも興味深く拝聴でき、聴講者一同感銘を受けました。

懇親会

懇親会は場所を「休暇村のと千里浜」へと移して百名を超す同窓生が参加。

市村昭代史副会長の開宴挨拶。ご来賓の方々の祝辞に続き、宝達典久・宝達志水町長の乾杯のご発声で祝宴に入りました。

祝宴のなかでは県内支部の活動報告、地元「のとアマカル・ド・シャンソン」の皆さんによるシャンソンの披露。

そして、吉田 実応援団長（関西支部副支部長）のもと、同級生の応援を頂き参加者全員で母校の応援歌（白雲流る、第二校歌）・校歌を歌って会場は一体感に包まれました。

最後は、木村 勉・東海支部支部長による万歳三唱、そして瀬戸公英副会長による中締めでお開きとなりました。

ご参加ならびにご協力を頂きました皆様方、誠にありがとうございました。



ホームページをリニューアルしました!



○同窓会本部では、より活発な同窓会活動の展開、運営協力金納入増による活動継続を目指した取り組みを進めています。その一環としてホームページをリニューアルしました。ここでは、新たな目的や機能を紹介します。

また、これらを実現させるためにも、同窓生からの情報提供が必要です。皆さまの情報を広く募集しておりますのでご協力をお願いいたします。

公式ホームページの特徴

●ブランドイメージの向上を目指して!

多数の同窓生から著名人の輩出まで、同窓生の活動や記録が羽高のブランドイメージにも直結しています。

これらの情報が在校生や羽高高校に入学を考えている生徒達の未来の参考となるように努めたいと思っています。

また、関東や関西、東海など、全国に広がる支部との情報の共有化を図ることで、高校卒業した後の世代にとっては、先輩方の意見や経験などを聞くことのできる場の提供につながるかと考えます。

同窓会全体の活動の裾野を広げることで、今後の活動方針や「同窓会とは?」という活動意義に対して、新しい可能性を探っていきます。

●見るだけでなく、一緒に参加しながら作っていく!

- ・同窓会・同期会・クラス会の告知や報告。学校・現役生のこと、同窓生の活躍などを掲載します。
- ・創立100周年に向けた活動記録の蓄積や、過去からの関連する資料(旧HP)のアーカイブ化を図ります。
- ・メール・お問い合わせフォームを導入したことに

- ### ●同期会・クラス会などの掲載情報募集中!
- 開催が決まりましたら、同窓会事務局へ情報をお寄せください。
- (1) 同窓会スケジュール
 - (2) 開催の告知
 - (3) 開催の記録(報告)を同窓会ホームページ上に掲載します。

よる、事務局作業の軽減化を図ります。

・同窓会活動・予算の発信を行います。

【告知・報告のご連絡】

「メッセージフォーム」あるいは「FAX」「葉書」にてあるいは、羽高同窓会事務局
〒925-8550 羽高市柳橋町柳橋1
Tel・Fax 0767-22-1422
ホームページ <http://www.uko-dosokai.net>
メール hakui55dosokai@festa.ocn.ne.jp
今後同窓生の皆様の素敵なコミュニケーションの場としてご利用頂けますように、様々な楽しい機能を用意して参りたいと思います。

運営協力金の納入状況

今年度の運営協力金について、経過を報告します。

九月四日現在で、納入件数一千六百二十三件。金額合計六百八十四万五千五百円となっております。

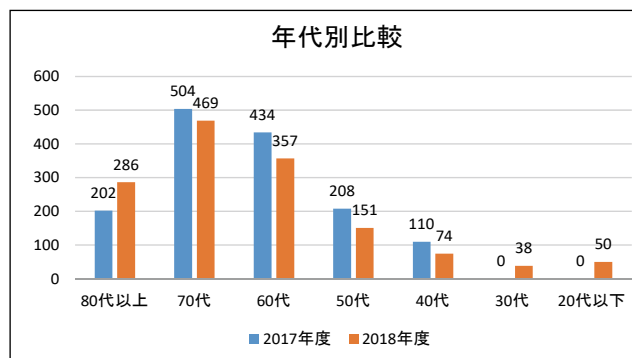
なお、取りまとめデータ処理を行っているため、納入状況に反映されるまでに時間がかかります。

ここでは、処理が終わっている五月末時点での情報から、納入状況の特徴を見えます。この時点での納入件数一千四百二十五件。金額合計五百五十一万九千円でした。

これを地域別にまとめたものが左の表になります。北陸(石川・富山・福井県)が一十七十一件、全体の七十五%と主体となっており、続いて関東が百八十九件(13%)、関西九十一件(7%)。東海四十五件(3%)などで、各地域で暮らす同窓生の数に比べて、経過を報告します。

| | 納入件数 | 同窓生数 |
|--------|------|-------|
| 北海道・東北 | 5 | 71 |
| 関東 | 189 | 1627 |
| 信越 | 12 | 69 |
| 北陸 | 1071 | 12620 |
| 東海 | 45 | 393 |
| 関西 | 91 | 856 |
| 中国 | 2 | 40 |
| 九州 | 7 | 47 |
| その他 | 3 | 0 |
| | 1425 | 15723 |

年代別比較



例しているようです。また、石川県では、一千四十件。そのうち市町別では羽高市が三百五十八件。金沢市が百八十四件。宝達志水町が百七十二件。志賀町百三件の順になっています。

次に年代別の納入状況を昨年度と比較したのが右グラフです。集計時期や協力金振込用紙の送付範囲が異なりますが、若者層をはじめ各世代へと広がっていることがうかがえます。

今後とも運営協力金へのご理解とご協力をお願いいたします。

校友 広場

笑顔の花が満開

～昭和最後の卒業生、平成最後の記念同窓会～



8月11、12日。第40期（昭和63年卒）の卒業30周年記念同窓会を、和倉温泉「加賀屋」で開催しました。

遠くはフランス、オーストラリアなど海外から駆け付けてくれた同窓生。卒業以来の再会という者も多数おり、握手や熱い抱擁が見られた受付風景となりました。

私たち世話人は、356名の同窓生全員と連絡を取ろうと、6年ほど前から準備を始め、羽咋や金沢で打ち合わせを重ねてきました。同窓会用のホームページも立ち上げ、広く参加を募った結果、同窓生98名と6名の恩師の方々の出席を得て盛会となりました。

懇親会々場で記念撮影を終え、恩師の31H担任だった西和男先生の挨拶と乾杯が終わった瞬間、会場は一気に盛り上がりました。ビールを片手に、カメラ・スマホを片手に、おいしい料理はそっちのけ。久々の再会に、懐かしい会話や記念撮影と、いたる所で笑顔の花が咲き乱れています。2時間はあっという間に過ぎていきました。

二次会は大ホールで歌や会話で盛り上がり、三次会は三つの部屋にまたがりながら夜遅くまで。それぞれ有意義な時間を過ごしてもらえて、世話人として感慨もひとしおでした。

早朝、数時間前まで盛り上がっていた同窓生が、ちゃんと朝食会場に来てくれるか心配でしたが、そこは羽咋高校卒業生、時間内に全員食べることができました。

その後、ラウンジで2時間ほど語り合い、それぞれの帰路へと向かって行きました。

お忙しい中、時間を作って参加してくださった先生方。参加してくれた同窓生。残念

だけど参加できなかった同窓生。寄付に協力してくれた同窓生、そして、同窓会事務局でお世話してくださった足島さんに、心からの感謝を申し上げます。

多方面からたくさんの方々に協力をいただき、無事に記念同窓会を終えることができホッとしています。

最後に、快く世話を引き受けて協力してくれた同志に「ありがとう」と叫びます。

次回の50周年に向けて、お互い健康でありますように！（松田宏明・第四十期卒 記）

【校友広場への投稿について】

各支部や期別の総会、集まりなどの原稿を募集しています。なお、スペースの制約からやむを得ず原稿を短縮したり、次号に回すことがあります。なお、投稿いただいた原稿、写真は原則、お返ししません。どうぞ、ご了承ください。

卒寿の笑顔 ～春菜会～

とき/4月11日
ところ/休暇村 能登千里浜
(菊川 君代：高女15回卒)



平成30年度 各同窓会予定表

| 名称 | 日時 | 会場 |
|-------|-----------|----------------------------|
| 関西支部 | 10月20日（土） | 大阪キャスルホテル |
| 東海支部 | 10月27日（土） | ホテルルブラ王山 |
| 関東同窓会 | 11月10日（土） | 東海大学校 友会館 (霞が関ビル35F) |

志賀羽松会 総会を開催

総会は、7月16日に、本部の轟会長を始め城村・瀬戸両副会長、そして母校の江上教頭をご来賓に迎え「いこいの村能登半島」で開催されました。

本会の特徴は、昭和52年に「会員相互の親睦を図り母校の健全な発展に寄与すること」などの設立趣旨に賛同する有志で設立され、今日まで事業活動の財源を確保するために、会費の徴収を続けています。

総会では、開会の挨拶、ご来賓の挨拶に続き、旅行やスポーツ、新年会、会報発行などの事業計画と予算案が審議・承認されました。記念講演は、志賀町在住で第10回卒業の三宅信弘氏が「日本の文化よもやま話」と題して、日本文化の意外な起源や発展について講演。なるほど・そうだったのか、と楽しい時間を過ごしました。

その後の懇親会は、来賓や有志の参加で行われました。盃を重ねながら情報交換や近況報告、カラオケで時間が経つのも忘れ、今後の行事への参加や来年の総会での再会を約束し散会しました。
(宮下久幸：高18期卒記)



一枚の写真で有志が集う 関西地区12回生

関西地区に暮らす12回生は一年に何度か集まり近況などを語る有志の会を設けております。

先日、大阪市立美術館で「三軌会写真部大阪巡回展」があり、同級生の中條さんが出品し、8月28日大阪に来るとの連絡を受けて皆で集まることにしました。

200点近くの作品が並ぶ中、中條さんが能登のお祭りの一コマを写した作品が「大阪市立美術館館長奨励賞」を受賞されていました。作品の前で記念写真を撮り、祝福の拍手とおめでとうで最初から盛り上がりました。

全国から出品された作品一枚一枚を中條さんが解説し楽しい鑑賞会となりました。今まで色々ところで絵画や写真展を見てきましたが、撮る側からの説明は初めてだったので、被写体をどう写すか大変苦労されていることがわかり楽しい会となりました。

美術館を出て梅田に行き昼食会。お互いに日頃の身の回りを報告し、自分だけではなく家族が（特に配偶者）元気でなければ楽しい会にも出れないことを話しながら今回このような機会をつくってくれた中條さんに「おめでとう」と「感謝」の言葉で今回の有志の会を終わりました。「来年も美術館で会いましょう」と約束して家路につきました。

(森栄益子：高12回卒記)



和倉温泉の集い

～第12回生～

今年の第12回生の集いは「ふるさとの心が香り立つ和倉温泉」で行いました。

羽松ヶ丘の学び舎を卒業して54年。毎回のことだが「そろそろこの集いもお終いだねえ」と言いながら毎年の開催。「来年には参加できるかどうか分からんから来たよ」とホテル「海望」に53人が集いました。

記念写真の後、この一年で永久の旅立ちをした友の在りし日の姿を偲び「黙祷」を捧げ、懇親会の開幕。世話人代表で羽作・久保順一君が挨拶。各地区代表により地域活動の報告を兼ねて関東・里見公正君、関西・井村洋哉君、東海・北森孜君が報告し乾杯に移る。再会を喜び関東・井上猛君の発声で乾杯。語り・飲み・歌う宴がスタートしました。

宴も中盤、安達与之君がわれらが先輩新川さんの「東京の灯よいつまでも」を熱唱。野々市市で踊りを指導している毛利芳子さんが「人生一勝二敗」を演じると大拍手。前田栄蔵君の歌う「河内男節」に合わせ毛利さんを先頭に炭坑節の振付けで踊りの輪ができる。

「77歳は元気だっ！」と懐メロで盛り上がる。楽しい一時もあつと言う間に過ぎました。関西地区川田順一君が「我が人生にエールを贈ろう。参加者の幸せ、健康を祈り」と中締め発声。中越千紗子さんが「次回も羽咋で集まりましょう。お待ちしております。」と閉会の挨拶。

「元気な時に逢おうじゃないか」と約束し二次会へと移り遅くまで飲み、語りました。

二日目は、台風の情報からゴルフを中止し、坂口肇君のガイドで滝谷・妙成寺の見学。妙成寺の歴史を再認識しました。「来年も、羽咋で元気で再会しよう」と約束しそれぞれ家路につきました。
(中條俊夫：高12回卒記)



富来支部総会を開催

酷暑が続く中、8月10日に富来支部総会を開催しました。今年度も轟会長を始め、役員や岩城教頭先生をお招きし、富来地頭町「本光寺」において物故者法要を行い、その後、総会、懇親会を開催しました。

総会では、次年度からの役員、事務局の変更を承認いただき、懇親会に移行しました。

富来支部では、数年前から町内に在住する若い会員の参加を図っており、今回は「中19回生」から「高60回生」まで幅広い年代の会員が参加し、賑やかな懇親会となり、会員相互の親睦を図ることができました。

(平井清：高30期卒記)



諦めなかった「ゴールド金賞」

羽咋高校吹奏楽部

(顧問 松浦 倫子)

羽咋高校吹奏楽部は、今年度5年ぶりの金賞を獲得しました。私達は30人以下のB編成の部の出場ですが、部員は全員で21名、当日は20名での出場という少人数ながら大健闘しました。あと2点で上位大会に出場できたかと思うととても悔しいですが、正直な所、「羽咋高校、ゴールド金賞！」とアナウンスされたときに部員達が「ホント!?!」と耳を疑うほど、金賞は遠い存在でありました。

私達が自由曲で演奏したのは「華の伽羅奢々花も花なれ人も人なれ々」という、細川ガラシャの壮絶な人生を描いた作品です。和太鼓などの打楽器をベースとした「和」の力強いリズムと、キリスト教を信仰したガラシャの「洋」の調和的なハーモニーが入り乱れるような曲調を、練習を重ねていく中で掴んでいきましました。また、一人ひとりが「自分の担当する楽器の役割に責任を持つ」ことを大切にし、木管楽器の音色の美しさを活かすことや、金管楽器の華やかさをしっかりと表現することを何度も確認しながら練習しました。そして何より、3年

生の最後まで諦めない熱意があつてこそ、獲得できた金賞であると思います。

現在は、1, 2年生16名に、新入部員が1人加わりました！練習できる環境があることに感謝し、「つなぐ 挑戦する 笑顔あふれる羽高サウンド」を目指し、レヴェルアップしていきたいと思っています。



ワンサギ校との交流



2011年から始まったオーストラリアのワンサギ中等教育学校(以下、ワンサギ校)との交流事業も今年で7回目となります。7月7日の夕方、西日本豪雨により到着予定が大幅に遅れましたが、同校生徒15名と先生2名が無事に羽咋高校に着きました。基本的に午前は校内体験授業。音楽の授業では、羽咋高校生が爪のつけ方、演奏

の仕方を教えてお琴を体験したり、1年生のコミュニケーション英語では、日本文化についてパワーポイントを使って紹介などを行いました。

午後は外部での体験交流。内容は以下の通りです。

7月9日(月) 株式会社スギヨ(七尾市)の工場見学。限りなくカニに近いカニカマなどの製造工程を見学しました。

7月10日(火) 羽咋高校調理室で「そば打ち体験」を行った後、茶道部に参加。

同校のルイーザ先生は、「オーストラリアでは自分でヌードルを作ることはあまりない。面白かった」と語りました。

7月11日(水) 文化教室に参加。コスモアイル羽咋でパントマイムを鑑賞しました。

7月12日(木) 羽咋のパワースポット巡り

で「気多大社」と「妙成寺」を訪れました。また、活動最終日ということで、英語部によるお別れパーティーが視聴覚室で行われました。ホストファミリーも参加しての楽しいパーティーでしたが、終わりが近づくと涙ぐむ生徒も見られました。ワンサギ校のジェシカさんは「日本の授業や文化に関われてよかったです。食べ物がおいしかったです。ずっと羽咋にいたい」と思いを語ってくれました。



羽高魂

スポーツ・文化活動の軌跡

高校総体、総文石川県大会が、県内各地で行われた。陸上競技は5月24日から26日、その他の競技は、5月31日から6月3日の開催。羽咋高校では、5月18日に壮行式を行い、全校生徒が生徒を激励しました。選手代表が、「支えてくださった人に感謝し、全力を尽くしたい」と思いを述べました。主な結果は次のとおりです。

■高校総体結果

- 少林寺拳法部**
男子個人単独演舞
優勝 畑山 潤介
(北信越大会、インターハイ出場)
- 空手道部**
男子団体形 3位
男子団体組手 3位
女子団体組手 3位
女子シングルス ベスト32 安達
女子ダブルス ベスト16 荒邦・杉永組
(以上 中部日本大会出場)
- 剣道部**
男子団体 2位
女子団体 3位
男子個人 2位 杉原 哲
女子個人 2位 横町柚里佳
(北信越大会、インターハイ出場)
- なぎなた部**
3位 横山 夢乃
3位 横山 令
ベスト8 山本 純菜
(以上 北信越大会出場)
- 試合競技団体** 2位
(北信越大会出場)

試合競技個人

- 5位 中山 千夏
- 5位 山田明香里
- 9位 飯川 柚紀
(以上 北信越大会出場)
- 演技競技**
3位 中山・山田組
6位 織田・星野組
(以上 北信越大会出場)
- 弓道部**
女子団体 2位
男子個人 5位 小櫃 健吾
(北信越大会出場)
- 陸上競技部**
やり投げ 優勝 本田 涼太
110mハードル 3位 釜谷 拓磨
(以上 北信越大会出場)
- ソフトテニス部**
女子個人 ベスト16 油井・横山組
(北信越大会出場)



■総文石川県大会結果

- 英語部**
イングリッシュ・フェスティバル 出場
- 英語劇**
吹奏楽部 第42回吹奏楽演奏会
マーチング・パトントワリング 出演

■北信越大会 6月16日、17日

- 剣道部**
男子団体 ベスト8
女子団体 ベスト8
女子個人 ベスト8 横山 令
- なぎなた部**
団体試合 2位
やり投げ 優勝 本田 涼太
単独演舞 4位 畑山 潤介
- 少林寺拳法部**
インターハイ出場決定
- 陸上競技部**
やり投げ 5位 本田 涼太

■インターハイ結果

- 陸上競技部**
やり投げ 5位 本田 涼太

「ドイツガシワの木の由来」

生徒玄関前。秋になると色づく大きな木が「ドイツガシワ」と呼ばれ、母校にとつて関係の深いことをご存じでしょうか。この木が羽咋の旭町に植えられたのは昭和十一年。ベルリンでオリンピックが開催された年です。各種目の優勝者には、表彰台で「もつと伸びよ」の言葉がこめられた苗木が贈呈されたそうです。

同大会での三段跳金メダリスト・田島直人氏の苗木はオリンピックオークと呼ばれ、ゆかりの全国の地に植樹されていることが知られています。

そして、「旧羽咋市史・原始古代編」羽咋の名木の頁には、ベルリンから同一種を持つて帰られた前田家十六代当主、前田利為侯爵から旧制羽咋中学校第三代校長だった川岸晋二先生が一本譲り受けたと記載されています。



した環境と無縁ではないように感じます。残念ながら、時の移ろいともこれらの記憶は薄れてつたようです。昭和45年、校舎は羽松ヶ丘から現在の地に移転。その跡地には市役所庁舎の建設が進みました。

同時に、中庭の解体も予定され、昭和56年「ドイツガシワ」も伐採される寸前でしたが、この計画を知った方が保存を訴え、同窓会第十六代会会長であった小倉次吉さんのご尽力の結果、現在の場所に移植されたということです。

そんな木も今では柳橋の地にしっかりと根を張って、樹齢八十二年。同窓会だよりの編集を担当して一年。現役のころには知らなかった逸話として、先輩諸氏のお力で概略をまとめてみました。

「もつと伸びよ」を体現する木。母校を訪れた際に仰ぎ見てはかがでしようか。
(今井淳一：高二十九回卒)